

令和5年度 やまがた社会貢献基金助成事業 活動報告書

団体名	ウェザーハート災害福祉事務所		
事業名	「子どもから大人までが学べる『災害時の助け合い・平時の備えゲーム』制作事業		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ希望型） 【テーマ：「山形県消防設備協会法人設立10周年記念事業」啓発・学習ツールにより気軽に学ぶ、災害から身を守る防災意識の啓発・醸成事業】		
団体の 所在市町村	山形市	事業費	1,062,706円
		うち助成金額	1,055,294円
事業実施期間	令和5年7月1日～令和6年2月29日まで		

事業目的・実施内容	<p>(事業目的)</p> <p>山形県は災害が少ないと言われてきましたが、近年は毎年のように災害が発生しています。一方、災害が多い宮城県では防災学習が盛んに行われており、本県の防災学習についてはまだ充分とは言えない状況にあります。子どもから高齢者までが気軽に防災を学ぶツールを制作し、地域防災の活性化に寄与したいと考え、企画するに至りました。</p>
	<p>(実施内容)</p> <p>2種類のゲーム制作を実施しました。 ゲーム制作にあたっては、災害現場での調査（秋田県）やゲーム体験（石川県）を行い、体験者の意見を取り入れ、ゲームの質の向上に繋がりました。</p> <p>① 防災カードゲーム(子ども向けカードゲーム) 「山形で大じしん！どっちをえらぶ？」…50セット</p> <p>② 避難所の助け合いトレーニングゲーム(大人向けボードゲーム) 「私が避難所の運営を手伝うことになったらどうする？トレーニング～大地震の翌日編～」…25セット</p>

【参考写真①】子ども用カードゲーム

「山形で大じしん！どっちをえらぶ？」

概要

- ・A4サイズの「お題（質問）シート」を同梱しているスタンドで立てます。
- ・めくると二択のお題が出され、自分はどちらの選択をするか判断し、グループで意見交換を行います。



事業の成果	<p>本事業ではボードゲーム25セット、カードゲーム50セットの制作を完成させたことで、ゲームの活用による災害学習が可能となりました。</p> <p>本事業を通して防災学習のツール開発のノウハウを得られました。</p>
--------------	---

今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度は、今回制作したゲームを総合支庁等へ提供し、自治会や学校等に貸し出すなどで活用して頂けるよう、事業を展開する予定です。 また、研修会等でゲームを実施する際には報道機関に取材を依頼し、広く県民に伝わるよう、周知に力を入れたいと考えています。
--------------	---

【参考写真②】大人用ボードゲーム

「私が避難所の運営を手伝うことになったらどうする? トレーニング~大地震の翌日編~」
(略称「ヒナトレ」)

①スライド

- ・ A4サイズ
- ・ 同梱しているスタンドで立てます。
- ・ めくると指示が出され、それに従う事で進行することが可能です。



②被災者カード

- ・ 名刺サイズ
- ・ 一枚ごとに避難者と救援物資が禍下荒れており、図面上に配置していきます。
- ・ 避難者へのケアについて話し合います。



③避難所レイアウト

- ・ A1サイズ
- ・ 架空の町の避難所や居住区が書かれている図面です。この図面に各種カードを配置していきます。

④お題カード

- ・ 名刺サイズ
- ・ 避難者の困り事がカードに記載。
- ・ 避難者の困り事にどう対応していくか、グループで話し合います。



団体概要

団体名：ウェザーハート災害福祉事務所

代表：千川原 公彦

URL：<https://www.weatherheart.online>